

新図書館ミニレクチャプログラム

知能ロボットの頭の中をのぞいてみよう

-レクチャ手法種明かし-

授業の構成の整理

■ 目的：

知能ロボットの構成法についての知識を習得する

■ 目標（具体的に達成したいこと）：

ロボットの構成要素を説明できる

知能ロボットのふたつの構成法について説明できる

授業の構成の整理

3部で構成

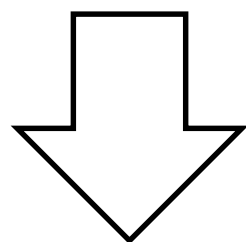
導入：事前知識の確認，講義の目標の設定

展開（本論）：伝えたい内容を3つに分割

まとめ（結論）：講義のまとめ，達成度の評価

講義にあたって注意したこと

受講者の皆さんの集中力・レクチャへの
参加のモチベーションを持続したい！



アクティブラーニング **(双方向型の講義形式)**
の利用

2つのポイント

① 10分以内インタラクティブ

- 受講者の方が積極的に講義に参加できる

② 内容の反復

- 繰り返しのインプットで定着を図る

① 10分以内インタラクシヨ

- 配布の種明かしプリント
- 5分から10分に一回アクションができる環境に設定する

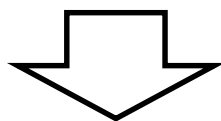
②内容の反復

- 配布の種明かしプリント
- ところどころに反復したスライドを挿入したり, 内容の区切りで軽くまとめる

例：知能ロボットとは

■定義として

「人に代わって目的を達成する装置」



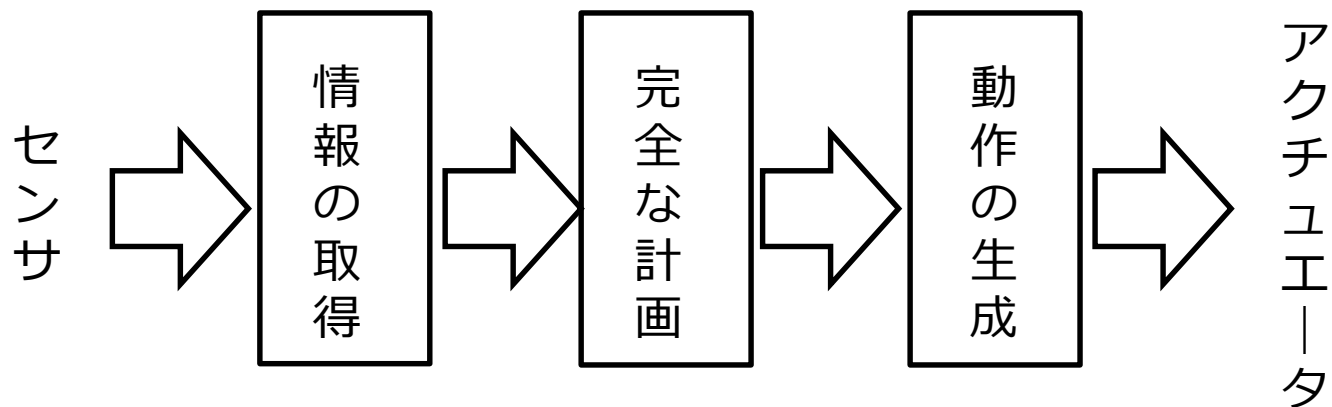
「環境が様々に変化しても、

人に代わって目的を達成する装置」

とします

例：知能ロボットの二つの構成法

■ 直列型のアーキテクチャ



■ 並列型のアーキテクチャ



その他気を付けていること

- 姿勢
- 表情
- はっきりしたしゃべり方
- 間
- 内容の区切りでのまとめ